

声に出して読みましょう。

かぶと虫 ②

にいみなんきち
新美南吉

四

かぶと虫むしを持った小さい太郎ちい たろうは、こんどは細い坂道ほそ さかみちをのぼって、大きい通りおお とおの方へ出ていきました。

くるまくるまだいく
車大工いえ やすおさんの家は、大きい通りおお とおにそってありました。その家の安雄いえ やすおさんは、もう青年学校せいねんがっこうにいつているような大きい人おお ひとです。けれど、いつも、小さい太郎ちい たろうたちのよい友だちともでした。じんとりをするときでも、かくれんぼかくれんぼをするときでも、いっしょいっしょに遊ぶのです。安雄やすおさんは小さい友だちちい ともから、とくべつとくべつに尊敬そんけいされてきました。それは、どんな木この葉は、草くさの葉はでも、安雄やすおさんの手てでくるくるとまかれ、安雄やすおさんのくちびるくちびるにあてると、ピイなと鳴るなことができたからです。また安雄やすおさんは、どんなつまらないものでも、ちよつと細工さいこうをして、おもしろいおもちゃおもちゃにすることができたからです。

読んだ日	時間
/	秒
/	秒
/	秒
/	秒
/	秒

くるまだいく
車大工さんの家に近づくにつれて、小さい太郎の胸は、わく
わくしてきました。安雄さんがかぶと虫でどんなおもしろいこと
をかんがだ
を考え出してくれるかと、おもったからです。

ちょうど、小さい太郎のあごのところまであるこうしに、首だ
けのせて、しごとばなかやすお
仕事場の中をのぞくと、安雄さんはおりました。おじ
さんとふたりで、しごとば
仕事場のすみのといしで、かんなの刃をといで
いました。よく見るときようは、ちゃんと仕事着をきて、黒い前
だれをかけています。

「そういうふうにかちからい
力を入れるんじゃねえといったら、わからん
やつだな。」

と、おじさんがぶつくさいいました。やすお
安雄さんは、刃のときかた
をおじさんにおそわっているらしいのです。顔をまっかにして

一生けんめいにやっています。それ
で、小さい太郎の方を、いつまで待って
もみ
み
見てくださいせん。

読んだ日	時間
/	秒
/	秒
/	秒
/	秒
/	秒

とうとう、小さい太郎はしびれをきらして、

「安さん、安さん。」

と、小さい声でよびました。安雄さんにだけ聞こえればよかったのです。

しかし、こんなせまいところでは、そういうわけにはいきませ
ん。おじさんが聞きとがめました。おじさんは、いつもは子ども
におだぐちなんかきいてくれるいい人ですが、きょうは、なにか
ほかのことではらをたてていたとみえて、太いまゆねをぴくぴく
と動かしながら、

「うちの安雄はな、もう、きょうから、一人まえのおとなになっ
たでな、子どもとは遊ばんでな、子どもは子どもと遊ぶがええぞ
や。」

と、つっぱなすようにいいました。

読んだ日	時間
/	秒
/	秒
/	秒
/	秒
/	秒

すると安雄やすおさんが、小さいちい太郎たろうの方ほうを見て、しかたがないよう
に、かすかにわらいました。そしてまたすぐ、じぶんの手先てのさきに熱心ねっしん
な目めをむけました。

虫むしがえだから落ちおるように、力ちからなく、小さいちい太郎たろうはこうしか
らはなれました。

そして、ぶらぶらと歩あるいていきました。

読んだ日	時間
/	秒
/	秒
/	秒
/	秒
/	秒

小さい太郎の胸に、深い悲しみがわきあがりました。

安雄さんはもう、小さい太郎のそばに帰ってはこないのです。

もういっしょに遊ぶことはないのです。おなかがいたいなら、あ

したになればなおるでしょう。三河にもらわれていったって、い

つかまた帰ってくることもあるでしょう。しかし、おとなの世界

にはいった人が、もう子どもの世界に帰ってくることはないので

す。

安雄さんは、遠くにいきはしません。同じ村の、じき近くに

ます。しかし、きょうから、安雄さんと小さい太郎は、べつの世界

にいるのです。いっしょに遊ぶことはないのです。

小さい太郎の胸には、悲しみが空の

ようにひろく、深く、うつろにひろがり

ました。

読んだ日	時間
/	秒
/	秒
/	秒
/	秒
/	秒

ある悲しみは、なくことができます。ないて消すことができません。

しかし、ある悲しみはなくことができません。ないたって、ど
うしたって、消すことはできないのです。いま、小さい太郎の胸
にひろがった悲しみは、なくこのできない悲しみでした。

そこで小さい太郎は、西の山の上にひとつきり、ぽかんとある、
ふちの赤い雲を、まぶしいものを見るように、まゆをすこししか
めながら、長いあいだ見ているだけでした。かぶと虫がいつか指
からすりぬけて、にげてしまったのにも気づかないで――。

読んだ日	時間
/	秒
/	秒
/	秒
/	秒
/	秒